

授業科目 作業療法の理論

【担当教員名】 永井 洋一	対象学年	4	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
作業療法の実践は理論に支えられて始めて根拠が得られることを理解する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 作業療法の実践における理論の必要性を説明できる。
2. 専門職の位置づけと理論の関係を説明できる。
3. 臨床における理論の使われ方の実例を述べるができる。
4. 代表的作業療法理論について概略を説明できる。
5. 作業療法理論の歴史的変遷について述べるができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	作業療法という専門職と理論の関係	1, 2	講義・討論
2	作業療法における臨床的推論	2, 3	"
3	作業療法理論の歴史的変遷(1)還元主義と危機意識	4, 5	"
4	作業療法理論の歴史的変遷(2)パラダイムの変化と新しい理論	4, 5	"
5	総合実習に見る理論的推論	3, 4	"
6	日本の作業療法でよく使われる理論と枠組み(Frame of Reference)	3, 4	"
7	日本独自の理論の可能性～川のモデル	2, 4, 5	"

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	作業療法実践のための6つの理論	岩崎テル子(監訳)	協同医書出版	1996, 3,296円
参考書	作業療法の理論	山田孝・小西紀一訳	協同医書出版	1993, 6,500円
	人間作業モデル(第2版)	山田孝監訳	協同医書出版	1999, 5,800円
その他の資料	授業中に配布する			

【評価方法】 出席：10%、討議への参加：30%、 演習課題：30% レポート：30%	【履修上の留意点】 あまり難しく考えず、臨床家としての実践に根拠を据える基礎として取り組む
---	--